

使用上の注意改訂のお知らせ

心臓選択性β遮断剤  
アルセノール錠 25  
アルセノール錠 50

製造販売元 原沢製薬工業株式会社  
東京都港区高輪三丁目 19 番 17 号  
TEL 03(3441)5191  
発売元 サンド株式会社  
山形県上山市新金谷 827-7  
本社 東京都港区西麻布 4-16-13

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。  
さて、この度、弊社製品「アルセノール錠 25・50」（有効成分：アテノロール）の使用上の注意につきまして先  
発品自主改訂により改訂となりました。それに伴い、下記のとおり、使用上の注意を変更致しますので、お知らせ  
申し上げます。  
今後のご使用に際しましては、下記の内容をご参照くださいますようお願い申し上げます。

敬具

・改訂内容（ 部：追加箇所、 部：削除箇所）

改訂後			改訂前		
3.相互作用 併用注意（併用に注意すること）			3.相互作用 併用注意（併用に注意すること）		
薬剤名等	臨床症状・措置方 法	機序・危険因 子	薬剤名等	臨床症状・措置方 法	機序・危険因 子
交換神経系に対 し抑制的に作用 する他の薬剤 レセルピン、 β遮断剤（チ モロール等の 点眼剤を含 む）等	交換神経系の過剰 の抑制（除脈、心 不全等）をきたす ことがあるので、 減量するなど慎重 に投与すること。	相互に作用 （交感神経抑 制作用）を増 強させる。	交換神経系に対 し抑制的に作用 する他の薬剤 レセルピン等	交換神経系の過剰 の抑制（除脈、心 不全等）をきたす ことがあるので、 減量するなど慎重 に投与すること。	相互に作用 （交感神経抑 制作用）を増 強させる。
血糖降下剤 インスリン、 トルブタミ ド、アセトヘ キサミド等	略		血糖降下剤 インスリン、 トルブタミ ド、アセトヘ キサミド等	略	
ミグリトール					
カルシウム拮抗 剤 ベラパミル、 ジルチアゼ ム、ニフェジ ピン等					
クロニジン					

改訂後			改訂前		
クラス I 抗不整脈剤 ジソピラミド、プロカインアミド、アジマリン等 <u>クラス III 抗不整脈剤</u> <u>アミオダロン</u> 等	過度の心機能抑制（除脈、心不全等）があらわれ、心停止／洞停止に至る可能性があるため、減量するなど慎重に投与すること。	抗不整脈剤は陰性変力作用及び陰性変時作用を有する。β遮断剤もカテコールアミンの作用を遮断することにより心機能を抑制するため、併用により心機能が過度に抑制される。	クラス I 抗不整脈剤 ジソピラミド、プロカインアミド、アジマリン等	過度の心機能抑制（除脈、心不全等）があらわれ、心停止／洞停止に至る可能性があるため、減量するなど慎重に投与すること。	<del>クラス I</del> 抗不整脈剤は陰性変力作用及び陰性変時作用を有する。β遮断剤もカテコールアミンの作用を遮断することにより心機能を抑制するため、併用により心機能が過度に抑制される。
麻酔剤 <u>セボフルラン</u> 等	反射性頻脈が弱まり、低血圧のリスクが増強することがある。 また、過度の心機能抑制（除脈、心不全等）があらわれ、心停止／洞停止に至る可能性がある。 陰性変力作用の小さい麻酔剤を選択すること。 また、心筋抑制作用を有する麻酔剤との併用は出来るだけ避けること。	麻酔剤により、低血圧が起こると反射性の頻脈が起こる。β遮断剤が併用されていると、反射性の頻脈を弱め、低血圧が強められる可能性がある。 また、陰性変力作用を有する麻酔剤では、相互に作用を増強させる。	麻酔剤 <del>エーテル</del> 等	反射性頻脈が弱まり、低血圧のリスクが増強することがある。 また、過度の心機能抑制（除脈、心不全等）があらわれ、心停止／洞停止に至る可能性がある。 陰性変力作用の小さい麻酔剤を選択すること。 また、心筋抑制作用を有する麻酔剤との併用は出来るだけ避けること。	麻酔剤により、低血圧が起こると反射性の頻脈が起こる。β遮断剤が併用されていると、反射性の頻脈を弱め、低血圧が強められる可能性がある。 また、陰性変力作用を有する麻酔剤では、相互に作用を増強させる。
ジギタリス製剤 非ステロイド性 抗炎症剤 インドメタシン等 交感神経刺激剤 アドレナリン等	略		ジギタリス製剤 非ステロイド性 抗炎症剤 インドメタシン等 交感神経刺激剤 アドレナリン等	略	
<u>フィンゴリモド</u>	<u>フィンゴリモドの投与開始時に本剤を併用すると重度の除脈や心ブロックが認められることがある。</u>	<u>共に除脈や心ブロックを引き起こすおそれがある。</u>	記載なし		